

○歴史や文化に根ざした 景観を継承する

市内には、歴史的建築物や土木遺産が多数点在しており、青梅宿の街なみや路地空間、山あいの集落などにはかつての面影が残されています。また、市街地や集落の多くが川沿いの傾斜地に発達してきたことから、随所に石積みが残っています。これらは、先人たちの暮らしぶりや地形に応じたまちづくりの履歴を示すものです。

また、祭りや市(いち)などの伝統行事は、地域の歴史を伝える重要な景観資源であり、青梅マラソンなどは時代の新しい文化となつています。



点在する景観資源や風情ある街なみ、行事などを地域に根ざした固有の歴史・文化として大切に継承し、現代にふさわしい形でこれらを再生し、身近な街なみのなかで活かして、暮らしを豊かに彩ります。

○暮らしの拠点に賑わいのある 景観を演出する

鉄道駅前やバス停留所などの交通結節点や、公園、公共施設といったパブリックスペース(公共性の高い場)は、コミュニティのふれあいの場、来訪者と青梅のまちとの出会いの場として貴重な空間となります。



このような暮らしの拠点を大切にし、誰もが利用しやすい快適な空間づくりを進めるとともに、場所にふさわしい賑わいの演出を図ります。暮らしのなかで人と人、人とまちとの出会いを楽しみ、心の豊かさを感じられるふれあいの輪を広げていきます。こうしたパブリックスペースの快適な景観づくりを、市全体の景観づくりへの先導役としていきます。

○住み続けたい 街なみの景観を育てる

市街地では家の玄関の花や庭先の生け垣などが街なみに緑を添えています。一方、山あいの集落は樹林や農地の緑に包まれて、里山の懐かしさを感じさせてくれます。また、市内の随所には、それぞれの地域による特色ある石積みが見られ、落ち着いた雰囲気も感じられます。



これらの居住の場を、安心して活力ある暮らしのよりどころとして、いつまでも住み続けたいと思える、ゆとりある暮らしの舞台として、整えていきます。歩行者空間の確保や身近な公園の充実など、安心な生活の基盤を整えるとともに、住まいの緑化や地域の住民の協力による花壇づくりなどに取り組み、潤いを感じられる生活環境を育てていきます。

○快適で潤いのある 交通景観をつくる

青梅・吉野・小曾木・成木街道などの主要な道は、多摩川や黒沢川・成木川の川辺をたどるため、市の景観を特徴づける「山・谷・川」の地形構造を一望できる地域認識の場となっています。また、鉄道の車窓からも同様に、山と川からなる青梅の地形が眺められます。一方、平坦な

扇状地上の市街地では、道路軸方向に眺められる山なみが方向感覚を与えてくれます。

このように、道路や鉄道の交通空間は、地域認識の場でもあり、沿道・沿線の景観とも一体的



○豊かで活力ある 産業景観を活かし、整える

里山に点在する水田・畑地や梅の樹園地などには、心安らぐ田園の眺めが広がっています。また、農地は、農産物の生産の場であることはもとより、環境保全や防災機能を担う身近な緑地空間として重要な役割を果たしています。

これからは、こうした農地の健全な環境と特徴ある景観を大切に、恵み豊かな風土・環境への理解と実感を深めていきます。

また、かつては、木材や織物などの地場産業が風土に根ざした地域景観をつくり出してきましたが、現代の産業は風土との関連が薄れ、施設も大規模化してきたことなどにより、地域景観に大きな影響を与えています。

地域に活力を与える産業と地域環境とのよい関係構築、自然環境や街なみなどの調和に配慮します。



による緑豊かな街なみの形成や、霞川などのまちなかの川を活かした水に親しむ場づくりなどにより、潤いを感じられる地域づくりをめざします。

●人が主役の交流・ 賑わいの場をつくる

青梅・東青梅・河辺駅周辺の中心市街地において、商業・業務・文化・サービスなどの中心拠点として、人が集まる場にふさわしい賑わいを生み出すとともに、人にやさしい都市空間づくりをめざします。そのため、商業の活性化や適切な土地利用の誘導、そのまちなしい歴史・文化の再生、青梅マラソンなど新しい時代の文化の振興とその舞台づくりなどを促しながら、沿道とも一体となった安心な歩行者空間の充実や連続性の感じられる街なみづくりなど、総合的な取り組みを促します。

●新しい住まい方のルールに 基づくまちづくり

新たな居住者や事業者も多いこの地域では、新しい住まい方やまちづ



●伸びやかな眺望と 花の彩りを楽しむ

美しい石積みや生け垣、歴史的な風情を感じさせる建物などを守るとともに、山の辺の坂道から里を見渡す眺望景観を大切にします。

多摩川に架かる橋に向かう道は下り坂になっているため、橋を見下ろしながら対岸の丘陵地を正面に望む印象的な眺めが得られます。こうした坂の眺めや多摩川を渡る橋からの眺めを大切にします。

また、美しく伸びやかな地域景観をつくり出している梅やユズなどの樹園地の保全や活用を図ります。

●地域を愛する心とつながる 景観まちづくり

観光地として多くの人を迎えるこの地域では、地域を愛する心に支えられたまちづくりを伝えていきます。

●西部地域 山と溪流が織りなす自然 景勝地を誇りとして活かす

御岳山や多摩川の溪流の豊かな自然環境を保全するとともに、渓谷美を楽しむ水辺空間と、明るい樹林を通り抜ける山間の散策空間を整えます。また、武蔵御嶽神社や美術館・記念館などの点在する施設などを、山や溪谷の自然探索のなかで歴史・文化にふれる拠点として活かします。これを通して、市民も観光客ともに美しい自然を満喫するとともに、観光振興を通して交流が生まれ、市民が誇れる魅力ある地域づくりをめざします。

また、観光の玄関口となる駅周辺や鉄道から眺められる場所において、豊かな自然の魅力を感じられる景観づくりを進めます。